



記者発表日

平成29年3月3日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

R186土砂崩落箇所への土砂撤去作業を支援します。 ～中国技術事務所配備の災害対策用機械が出動～

中国地方整備局は、広島県からの要請を受け、2月1日（水）に一般国道186号（山県郡北広島町細見）で発生した土砂崩落箇所の復旧支援のため、中国技術事務所に配備している下記災害対策用機械を貸出します。

- 出動機械：遠隔操縦装置（バックホウ用）※詳細は別紙のとおり
- 引渡日：平成29年3月7日（火）
- 引渡場所：中国技術事務所（広島市安芸区船越南2-8-1）

【遠隔操縦装置（バックホウ用）の概要】

「遠隔操縦装置（バックホウ用）（通称「ロボQ）」は、中国技術事務所に配備している災害対策用機械の一つで、バックホウの運転席に装着し、離れた場所から遠隔操縦を行うものです。土砂崩落箇所などの二次災害の恐れのある危険な現場で、作業員の安全を確保した上で、復旧作業を行うことができます。

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



副所長（機械）

みやたけ ひでのぶ
宮武 英信

施工調査・技術活用課長

ももさき ひでき
桃崎 英輝【担当】

住 所： 広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話： 082-822-2340（代表）

URL： <http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

遠隔操縦装置（バックホウ用）

危険な場所でも
安全で迅速な作業ができます。



一般に
使われている
油圧ショベルに
取り付け、
動かすことが
できます。



油圧ショベルのレバー操作と同じなので、
資格を持っている人なら操縦は簡単。

一般国道186号の法面崩壊に係る今後の対応等について

平成29年2月15日
道路整備課

1 要旨

一般国道186号の山県郡北広島町細見で2月1日（水）に発生した法面崩壊について、発生直後からのこれまでの経緯及び今後の対応について報告する。

2 これまでの経緯

- ・2月1日（水）：13時40分頃法面崩壊が発生，同時刻に通行止めを開始
- 被災状況：路面上部の約60mから岩塊が崩壊し車道2車線にわたり埋塞
- 崩落状況：幅：約10m，高さ：約6～7m，延長：約30m
- 人身被害：なし
- 物損被害：中国電力等電力線（一時的に停電が発生）及び通信線，橋梁，護岸の損壊
- 迂回路：県道小原猪山線，芸北広域農道等の2車線道路が近接して確保，交通への大きな影響なし
- ・2月1日（水）：14時15分より，職員，コンサル等による現地調査を開始
- ・2月2日（木）：専門家（道路防災ドクター）による現地調査を実施
 - ※斜面の小崩落が続き，2次災害の危険があることから，土砂撤去等の復旧工事の着手の見合せ
- ・2月4日（土）：監視カメラによる監視を開始
- ・2月7日（火）：ドローンによるレーザ計測に基づき平面・横断図の作成
- ・2月8日（水）：職員，コンサル，施工業者による復旧方法等の現地協議
- ・2月9日（木）～13日（月）：大雪のため現地調査等の作業を中断
- ・2月14日（火）：職員，コンサル，施工業者による今後の作業の進め方について確認



※この地図は，国土地理院発行の5万分の1地形図を複製したものを一部転載したものである。

3 現地状況に対する専門家（道路防災ドクター）の所見

今回は，斜面上部にある不安定な岩塊部分が崩落したものの。

当該斜面の地質は亀裂の多い流紋岩であり，亀裂に浸透した融雪水（雪が溶けた水）や雨水が，昼夜の気温差の影響により凍結融解（亀裂の押し広げ）を繰り返すことで，地山が脆弱化していたものと推定される。

4 今後の対応

- 現地の安全性を確認した上で，法面上部の不安定岩塊の対策を行うための進入路整備に，2月16日（木）から着手する予定
- 復旧の時期については，上部の不安定岩塊の対策の目途がついた段階で公表する予定